

平成30年度障害学生支援実務者育成研修会(応用プログラム) カリキュラム(案)

(前期:9月13日、14日)(後期:12月12日)

研修日	No.	形式	プログラム名	目的
1日目	—	—	受付	—
	—	—	事務連絡	連絡事項の案内、講師紹介
	—	—	趣旨説明	・本研修の全体目的と研修概要を理解する。
	1	講義	プログラム① 障害学生支援のための学内ネットワーク構築に関する基本的な考え方とマネージメント	・障害学生支援担当者として、障害学生のニーズを理解した上で、受け入れ体制の整備や支援のための資源の確認・確保、関係者・学内関係部局との協議・情報共有などの学内ネットワーク構築に向けての基本的な考え方、障害学生支援のマネージメントを担当する上での課題と解決策などについて理解する。
	2	—	演習の流れについて	・研修の全体の流れと各演習の目的と内容を理解する。
	—	—	昼食	—
	3	演習	プログラム② (演習1)合理的配慮の決定過程1	・支援計画を策定する能力を身に付ける。 ・支援計画を実行に移すために、障害学生・保護者・学内関係部局との連携・協議、情報共有など学内マネージメントを実践することができるスキルを身に付ける。
	4	—	宿題について	
	—	—	事務連絡	連絡事項の案内
2日目	—	—	受付+1日目の宿題回収	—
	—	—	事務連絡	—
	5	演習	プログラム③ (演習2)合理的配慮の決定過程2	・支援計画を策定する能力を身に付ける。 ・支援計画を実行に移すために、障害学生・保護者・学内関係部局との連携・協議、情報共有など学内マネージメントを実践することができるスキルを身に付ける。
	—	—	昼食	—
	6	演習	プログラム④ (演習3)支援人材の活用促進	・多様な支援者の育成と活用のためのノウハウを修得する。
	—	—	休憩	—
	—	—	受付+レポート回収	—
	—	—	事務連絡	—
	7	演習	プログラム⑤ (演習4)取組課題の検討・共有	・ここまでのプログラムで得られた知識や気づきを踏まえて、所属校で実践する「取組課題」を明確化し、約2か月間の取組への目的意識を高める。
—	—	事務連絡	連絡事項の案内	
研修日	No.	形式	プログラム名	目的・内容
3日目	—	—	受付+レポート回収	—
	—	—	事務連絡	—
	8	演習	プログラム⑥ 取組課題の報告・検討	・取組課題の報告や検討を通じて、多様な視点や知見の共有を図る。
	—	—	昼食	—
	9	発表・評価	プログラム⑦ 協議課題の全体発表・評価・再検討	・午前中の検討結果を全体発表することにより、優れた取組に対する知見の共有化を図る。 ・再評価・検討を行ない、今後の支援活動や今後の課題発見に結びつく手がかりを得る。
	—	—	休憩	—
	10	総括	プログラム⑧ 振り返り・まとめ	・講師からのアドバイスから、取組課題の改善や新たな取組への手がかりを得る。 ・支援の現場での取組などにつながるポイントを学ぶ。
	—	—	事務連絡	連絡事項の案内

前期(1日目・2日目)は、受付を9時30分より開始し、研修は9時45分～16時50分を予定しています。
後期(3日目)は、受付を9時25分より開始し、研修は9時45分～16時15分を予定しています。